# 平成21年6月期 第1四半期決算短信（非連結）

平成20年11月12日

上場会社名 株式会社ツノダ 上場取引所 名 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 角田 重夫 代表者 （役職名） ES部マネージャー （氏名） 渡邉 雅樹 TEL 0568-72-2331 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

（百万円未満切捨て）

【上場会社名】株式会社ツノダ
【上場取引所】名
【代表者】（役職名）代表取締役社長（氏名）角田 重夫
【代表者】（役職名）ES部マネージャー（氏名）渡邉 雅樹
【TEL】0568-72-2331
【四半期報告書提出予定日】平成20年11月13日

1. 平成21年6月期第1四半期の業績（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>第1四半期</th>
<th>第2四半期</th>
<th>第3四半期</th>
<th>通期</th>
<th>通期</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高 (百万円)</td>
<td>21年</td>
<td>102</td>
<td>24</td>
<td>26</td>
<td>△8</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益 (%)</td>
<td>20年</td>
<td>△4.4</td>
<td>25</td>
<td>△20.5</td>
<td>26</td>
</tr>
<tr>
<td>経常利益 (%)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>26</td>
<td>△17.9</td>
<td>26</td>
</tr>
<tr>
<td>四半期純利益 (%)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>8.6</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(2) 財政状態

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>第1四半期</th>
<th>第2四半期</th>
<th>第3四半期</th>
<th>通期</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>総資産 (百万円)</td>
<td>21年</td>
<td>2,289</td>
<td>1,651</td>
<td>317.74</td>
</tr>
<tr>
<td>純資産 (百万円)</td>
<td>20年</td>
<td>2,475</td>
<td>1,772</td>
<td>340.86</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 1,651百万円 20年6月期 1,772百万円

2. 配当の状況

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

<table>
<thead>
<tr>
<th>(基準日)</th>
<th>第1四半期末</th>
<th>第2四半期末</th>
<th>第3四半期末</th>
<th>期末</th>
<th>年間</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>20年6月期</td>
<td>ー</td>
<td>2.00</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
</tr>
<tr>
<td>21年6月期</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
<td>ー</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の業績予想（平成20年7月1日～平成21年6月30日）

(％表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>第2四半期累計期間</th>
<th>通期</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高 (百万円)</td>
<td>200</td>
<td>210</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益 (%)</td>
<td>△2.8</td>
<td>△2.5</td>
</tr>
<tr>
<td>経常利益 (%)</td>
<td>△39.5</td>
<td>△35.2</td>
</tr>
<tr>
<td>四半期純利益 (%)</td>
<td>△32.9</td>
<td>△39.6</td>
</tr>
<tr>
<td>1株当たり四半期純利益</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 関連会社を含む会計処理及び四半期財務諸表の作成に伴う連結の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【連結会計に関する情報・財務諸表等】4.その他をご覧下さい。

(2) 四半期財務諸表作成に伴う会計処理の適用の有無 無
(注)詳細は、3ページ【連結会計に関する情報・財務諸表等】4.その他をご覧下さい。

(3) 発行済株式数（普通株式）
① 期末済株式数（自己株式を含む） 21年6月期第1四半期 7,735,000株 20年6月期 7,735,000株
② 期末済株式数 21年6月期第1四半期 2,536,689株 20年6月期 2,535,981株
③ 期中平均株式数（四半期累計期間） 21年6月期第1四半期 5,198,907株 20年6月期第1四半期 5,622,469株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1.本資料に記載されている業績見通し等予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2.当該業績は「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針14号）に従い作成しております。
定性的情報・財務諸表等
1. 経営成績に関する定性的情報
当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界同時の後れの金融危機が実体経済へ波及をはじめ、企業収益の企画減少と著しい、設備投資のみならず個人消費まで不透明となりました。また、米国発の世界金融危機、世界各国の経済状況にも関わらず、実験の不ぞろいがその効果を示し、一時状況が改善される。また改善されたとしてもそれが一応統一の不透明・不確定な状況となりました。
このような状況下においても、当社はマクロ経済の動きに一喜一憂することなく、全社的構造改革の推進と、環境変化への対策を実施しております。

①賃貸不動産事業部門
当社の商業用地を開発完了した土地（大垣市内町、小牧市場の内）において、賃料収入が引き続き安定的に推移しております。また、賃貸マンション事業において、今後もこれから既存の分散化したマンションの大規模リフォームに着手し、物件の収益力の追求と集客力の向上に努めて参りますが、取引額から完成までの期間、一時的に売上減少することを見込んでおります。
この結果、売上高96百万円、売上総利益67百万円となりました。

②自転車事業部門
自転車事業部門では、自社商品開発に加え、仕入商品の品質強化に取り組み、売上の拡大だけでなく収益性の向上に努めております。
この結果、販売台数307台、売上高6百万円、売上総利益2百万円となりました。

以上の結果、全体では、売上高102百万円、営業利益24百万円、営業利益26百万円、特別損失35百万円の計上により四半期純利益8百万円となりました。特別損失の主な要因は、賃貸マンションリフォームに係る取引費用12百万円、固定資産売却損10百万円、投資有価証券評価損8百万円等によるものであります。

2. 財政状態に関する定性的情報
（1）資産・負債及び純資産の状況
（流動資産）
当第1四半期会計期間における流動資産の残高は、402百万円（前事業年度末401百万円）となり、1百万円増加いたしました。この主な要因は、繰延税金資産の減少（1百万円から35百万円への）減少、商品の増加（6百万円から9百万円への）の増加によるものであります。
（固定資産）
当第1四半期会計期間における固定資産の残高は、1,886百万円（前事業年度末2,074百万円）となり178百万円減少しました。この主な要因は、不動産投資の減少（1,387百万円から1,352百万円へ34百万円の）減少、投資有価証券の減少（672百万円から520百万円へ151百万円減少）等があったことによるものであります。
（流動負債）
当第1四半期会計期間における流動負債の残高は、168百万円（前事業年度末168百万円）となり、2百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金の増加（95百万円から86百万円への）増加、その他（主に未払配当金）の増加（69百万円から79百万円への）増加等によるものであります。
（固定負債）
当第1四半期会計期間における固定負債の残高は、468百万円（前事業年度末536百万円）となり、67百万円減少いたしました。この主な要因は、繰延税金負債の減少（249百万円から187百万円への）減少、長期借入金の減少（17百万円から9百万円への）減少等によるものであります。
（純資産）
当第1四半期会計期間における純資産の残高は、1,651百万円（前事業年度末1,772百万円）となり、120百万円減少いたしました。この要因は、その他有価証券評価差額金の減少（321百万円から236百万円への）減少、利益剰余金の減少（1,296百万円から2,281百万円への）減少等によるものであります。
（２）キャッシュ・フローの状況
当第１四半期会計期間における現金及び現金同等物は178百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円の減少となりました。また、当第１四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】
営業活動の結果、得られた資金は24百万円となりました。これは主に税引前四半期純損失を9百万円計上したもの、減価償却費12百万円、投資有価証券評価損8百万円、固定資産売却損10百万円及び固定資産取壊費用12百万円を計上し、また、その他の流動資産の増加による支出が13百万円あったことによるものです。
なお、当第１四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、21百万円減少しております。これは主に、当第１四半期は、前年同期に比べ、別段預金（その他の流動資産）の増加による支出が11百万円、商品（たな卸資産）の増加による支出が3百万円多くなっており、また前第１四半期には、破産債権の回収による収入（その他固定資産の減少）が7百万円あったことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】
投資活動の結果、使用した資金は4百万円となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入が15百万円ありましたが、一方で有形固定資産の取得による支出を5百万円、固定資産の取壊による支出を12百万円行ったことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】
財務活動の結果、使用した資金は33百万円となりました。これは主に配当金の支払を17百万円、借入金の返済を16百万円行ったことによるものです。

３．業績予想に関する定性的情報
平成21年6月期の業績予想につきましては、現時点では、平成20年8月22日公表の業績予想には変更はありません。
今後の経済情勢及び業績の推移により、第２四半期累計期間及び通期業績見込みについて見直しが必要となった場合には速やかに開示いたします。

４．その他
（１）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
棚卸資産について
当第１四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

（２）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
１．当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表作成しております。

２．たな卸資産の評価に関する会計基準等の適用
通常の販売目的に保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による低価法によっておりましたが、当第１四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。
この変更に伴う損益に与える影響はありません。
３．リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第1部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。
この変更に伴う損益に与える影響はありません。
## 5．四半期財務諸表
### （1）四半期貸借対照表

(単位: 千円)

<table>
<thead>
<tr>
<th>資産の部</th>
<th>当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)</th>
<th>前事業年度末に係る要約貸借対照表 (平成20年6月30日)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>流動資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>現金及び預金</td>
<td>349,846</td>
<td>350,997</td>
</tr>
<tr>
<td>売掛金</td>
<td>1,721</td>
<td>785</td>
</tr>
<tr>
<td>商品</td>
<td>9,656</td>
<td>6,592</td>
</tr>
<tr>
<td>繰延税金資産</td>
<td>35,996</td>
<td>39,212</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>5,820</td>
<td>4,221</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金</td>
<td>△463</td>
<td>△486</td>
</tr>
<tr>
<td>流動資産合計</td>
<td>402,577</td>
<td>401,323</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>建物（純額）</td>
<td>648,645</td>
<td>664,773</td>
</tr>
<tr>
<td>土地</td>
<td>677,260</td>
<td>700,460</td>
</tr>
<tr>
<td>その他（純額）</td>
<td>27,022</td>
<td>22,616</td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産合計</td>
<td>1,352,928</td>
<td>1,387,851</td>
</tr>
<tr>
<td>無形固定資産</td>
<td>3,214</td>
<td>3,402</td>
</tr>
<tr>
<td>投資その他の資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>投資有価証券</td>
<td>520,860</td>
<td>672,547</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>22,318</td>
<td>23,156</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金</td>
<td>△12,539</td>
<td>△12,594</td>
</tr>
<tr>
<td>投資その他の資産合計</td>
<td>530,638</td>
<td>683,109</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産合計</td>
<td>1,886,782</td>
<td>2,074,363</td>
</tr>
<tr>
<td>資産合計</td>
<td>2,289,359</td>
<td>2,475,687</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 負債の部 |                                      |                                  |
|----------|--------------------------------------|                                  |
| 流動負債  |                                      |                                  |
| 買掛金   | 736   | 1,103  |
| 短期借入金 | 47,700 | 47,700 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 39,259 | 47,590 |
| 未払法人税等 | 187 | 815 |
| 賞与引当金 | 1,531 | 510 |
| その他   | 79,553 | 69,209 |
| 流動負債合計 | 168,968 | 166,928 |
| 固定負債  |                                      |                                  |
| 長期借入金 | 9,775 | 17,500 |
| 繰延税金負債 | 187,429 | 249,013 |
| 退職給付引当金 | 7,146 | 7,032 |
| 役員退職慰労引当金 | 43,440 | 41,615 |
| 長期預り保証金 | 220,969 | 221,479 |
| 固定負債合計 | 468,660 | 536,641 |
| 負債合計   | 637,628 | 703,570 |
当第1四半期会計期間末
（平成20年9月30日）
前事業年度末に係る
要約貸借対照表
（平成20年6月30日）

<table>
<thead>
<tr>
<th>純資産の部</th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>株主資本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>400,000</td>
<td>400,000</td>
</tr>
<tr>
<td>資本剰余金</td>
<td>41,381</td>
<td>41,381</td>
</tr>
<tr>
<td>利益剰余金</td>
<td>1,261,865</td>
<td>1,296,616</td>
</tr>
<tr>
<td>自己株式</td>
<td>△287,772</td>
<td>△287,636</td>
</tr>
<tr>
<td>株主資本合計</td>
<td>1,415,474</td>
<td>1,450,361</td>
</tr>
<tr>
<td>評価・換算差額等</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他有価証券評価差額金</td>
<td>236,256</td>
<td>321,755</td>
</tr>
<tr>
<td>評価・換算差額等合計</td>
<td>236,256</td>
<td>321,755</td>
</tr>
<tr>
<td>純資産合計</td>
<td>1,651,730</td>
<td>1,772,116</td>
</tr>
<tr>
<td>負債純資産合計</td>
<td>2,289,359</td>
<td>2,475,687</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>102,854</td>
</tr>
<tr>
<td>売上原価</td>
<td>33,039</td>
</tr>
<tr>
<td>売上総利益</td>
<td>69,815</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益</td>
<td>24,434</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外収益合計</td>
<td>2,392</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外費用合計</td>
<td>680</td>
</tr>
<tr>
<td>経常利益</td>
<td>26,147</td>
</tr>
<tr>
<td>特別利益合計</td>
<td>78</td>
</tr>
<tr>
<td>特別損失合計</td>
<td>78</td>
</tr>
<tr>
<td>税引前四半期純損失（△）</td>
<td>△9,096</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税、住民税及び事業税</td>
<td>72</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税等調整額</td>
<td>△413</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税等合計</td>
<td>△340</td>
</tr>
<tr>
<td>四半期純損失（△）</td>
<td>△8,756</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（単位：千円）

当第1四半期累計期間
（自 平成20年7月1日至 平成20年9月30日）
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

<table>
<thead>
<tr>
<th>内容</th>
<th>金額（千円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>営業活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>税引前四半期純損失（△）</td>
<td>△9,696</td>
</tr>
<tr>
<td>減価償却費</td>
<td>12,372</td>
</tr>
<tr>
<td>賞与引当金の増減額（△は減少）</td>
<td>1,021</td>
</tr>
<tr>
<td>退職給付引当金の増減額（△は減少）</td>
<td>1,725</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金の増減額（△は減少）</td>
<td>△78</td>
</tr>
<tr>
<td>受取利息及び受取配当金の増減額</td>
<td>△2,272</td>
</tr>
<tr>
<td>投資有価証券評価損益（△は益）</td>
<td>8,384</td>
</tr>
<tr>
<td>支払利息</td>
<td>676</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産売却損益（△は益）</td>
<td>10,706</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産除却損</td>
<td>1,619</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産取壊費用</td>
<td>12,193</td>
</tr>
<tr>
<td>前期損益修正損益（△は益）</td>
<td>2,250</td>
</tr>
<tr>
<td>売上債権の増減額（△は増加）</td>
<td>△329</td>
</tr>
<tr>
<td>たな卸資産の増減額（△は増加）</td>
<td>△2,889</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の流動資産の増減額（△は増加）</td>
<td>△13,538</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の固定資産の増減額（△は増加）</td>
<td>796</td>
</tr>
<tr>
<td>仕入債務の増減額（△は減少）</td>
<td>△366</td>
</tr>
<tr>
<td>未払金の増減額（△は減少）</td>
<td>1,907</td>
</tr>
<tr>
<td>未払費用の増減額（△は減少）</td>
<td>△246</td>
</tr>
<tr>
<td>長期預り金の増減額（△は減少）</td>
<td>△510</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の流動負債の増減額（△は減少）</td>
<td>△622</td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>23,815</td>
</tr>
<tr>
<td>利息及び配当金の受取額</td>
<td>2,113</td>
</tr>
<tr>
<td>利息の支払額</td>
<td>△640</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税等の支払額</td>
<td>△290</td>
</tr>
<tr>
<td>営業活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>24,997</td>
</tr>
<tr>
<td>投資活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産の取得による支出</td>
<td>△5,397</td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産の売却による収入</td>
<td>15,210</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産の除却による支出</td>
<td>△1,619</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産の取壊による支出</td>
<td>△12,193</td>
</tr>
<tr>
<td>投資有価証券の取得による支出</td>
<td>△150</td>
</tr>
<tr>
<td>貸付金の回収による収入</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td>投資その他の資産の増減額（△は増加）</td>
<td>△20</td>
</tr>
<tr>
<td>投資活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>△4,140</td>
</tr>
<tr>
<td>財務活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>長期借入金の返済による支出</td>
<td>△16,656</td>
</tr>
<tr>
<td>自己株式の取得による支出</td>
<td>△136</td>
</tr>
<tr>
<td>配当金の支払額</td>
<td>△17,100</td>
</tr>
<tr>
<td>財務活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>△33,292</td>
</tr>
<tr>
<td>現金及び現金同等物の増減額（△は減少）</td>
<td>△12,434</td>
</tr>
<tr>
<td>現金及び現金同等物の期首残高</td>
<td>190,780</td>
</tr>
<tr>
<td>現金及び現金同等物の四半期末残高</td>
<td>178,346</td>
</tr>
</tbody>
</table>
当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
### 参考資料
前四半期に係る財務諸表等
(1) (要約) 四半期損益計算書

<table>
<thead>
<tr>
<th>科目</th>
<th>前年第1四半期（平成20年6月期 第1四半期）</th>
<th>金額（千円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>I</td>
<td>売上高</td>
<td>103,360</td>
</tr>
<tr>
<td>II</td>
<td>売上原価</td>
<td>32,974</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>売上総利益</td>
<td>70,386</td>
</tr>
<tr>
<td>III</td>
<td>販売費及び一般管理費</td>
<td>44,580</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>営業利益</td>
<td>25,806</td>
</tr>
<tr>
<td>IV</td>
<td>営業外収益</td>
<td>1,703</td>
</tr>
<tr>
<td>V</td>
<td>営業外費用</td>
<td>1,390</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>経常利益</td>
<td>26,118</td>
</tr>
<tr>
<td>VI</td>
<td>特別利益</td>
<td>20,550</td>
</tr>
<tr>
<td>VII</td>
<td>特別損失</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>税引前四半期純利益</td>
<td>46,627</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>税金費用</td>
<td>19,722</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>四半期純利益</td>
<td>26,904</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（２）（要約）四半期キャッシュ・フロー計算書

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>前年第1四半期 （平成20年6月期 第1四半期）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>金額（千円）</td>
</tr>
<tr>
<td>I</td>
<td>営業活動によるキャッシュ・フロー</td>
</tr>
<tr>
<td>税引前四半期(当期)純利益</td>
<td>46,627</td>
</tr>
<tr>
<td>減価償却費</td>
<td>13,517</td>
</tr>
<tr>
<td>賞与引当金の増加額</td>
<td>965</td>
</tr>
<tr>
<td>退職給付引当金の増加額</td>
<td>1,184</td>
</tr>
<tr>
<td>役員退職引当金の増加額</td>
<td>1,170</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金の減少額</td>
<td>△9</td>
</tr>
<tr>
<td>受取利息及び受取配当金</td>
<td>△1,619</td>
</tr>
<tr>
<td>支払利息</td>
<td>1,314</td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産売却益</td>
<td>△19,868</td>
</tr>
<tr>
<td>売上債権の減少額</td>
<td>979</td>
</tr>
<tr>
<td>仕入債務の増加額</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,801</td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>46,074</td>
</tr>
<tr>
<td>利息及び配当金の受取額</td>
<td>1,508</td>
</tr>
<tr>
<td>利息の支払額</td>
<td>△1,271</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税等の支払額</td>
<td>△290</td>
</tr>
<tr>
<td>営業活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>46,021</td>
</tr>
<tr>
<td>II</td>
<td>投資活動によるキャッシュ・フロー</td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産の取得による支出</td>
<td>△4,445</td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産の売却による収入</td>
<td>64,697</td>
</tr>
<tr>
<td>投資有価証券の取得による支出</td>
<td>△752</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>△20</td>
</tr>
<tr>
<td>投資活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>59,479</td>
</tr>
<tr>
<td>III</td>
<td>財務活動によるキャッシュ・フロー</td>
</tr>
<tr>
<td>長期借入金の返済による支出</td>
<td>△23,262</td>
</tr>
<tr>
<td>自己株式の取得による支出</td>
<td>△17</td>
</tr>
<tr>
<td>配当金の支払額</td>
<td>△25,812</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>財務活動によるキャッシュ・フロー</td>
<td>△49,055</td>
</tr>
<tr>
<td>IV</td>
<td>現金及び現金同等物の増加額</td>
</tr>
<tr>
<td>V</td>
<td>現金及び現金同等物の期首残高</td>
</tr>
<tr>
<td>VI</td>
<td>現金及び現金同等物の四半期末残高</td>
</tr>
</tbody>
</table>